

# TCM

at the  
**FOREFRONT**  
of the  
**MUSIC WORLD**

TCM  
Tokyo College of Music Graduate School  
東京音楽大学大学院

# 2022



## 理事長メッセージ

# 皆さんとともに 音楽文化の新たな地平を切り拓く



東京音楽大学理事長  
丸山 恵一郎

東京音楽大学大学院への進学を考えている皆さんを、心から歓迎いたします。

本学は、114年の伝統を誇るだけでなく、114年の実績を礎として、音楽の新たな価値を創造し、先進的な教育を行うことに意を注いでいます。

演奏や作曲など実践的な分野において、本学が優れた教育力を有することは、広く知られているところです。修士課程はそれをさらに押し進め、傑出した音楽家、研究者、教育者を輩出してきました。

しかし、それだけでなく、本学修士課程の特徴として、専門を超えた分野でも高度な教育を行っていることが挙げられます。たとえば、演奏が専門であっても研究者としての高度な訓練を受けることができ、逆に音楽学や音楽教育学が専門であっても演奏や作曲などの実践力を身につけることができます。そのためのゼミや個人レッスンは多数あり、外国語の授業も多彩に組み、録音や配信などIT関連のクラスも用意されています。修士課程としては、他に例をみない多彩で手厚い教育体制です。

経済一辺倒ではなくなると予測されるこれからの世界において、音楽も音楽家も音楽界にとどまるものではありません。皆さんには、本学修士課程の恵まれた環境のなかで、専門性を中軸としながらも幅広い視野で自分に合わせた学修プログラムを創り、これからの予測不可能な時代に“音楽文化の新しい地平”を、“皆さん自身の人生の地平”として切り拓く、そういう創造性と企画力をもつ人となって、世界に羽ばたいてもらいたいと願っています。

## Contents

理事長 Message	2
学長・研究科長 Message	3
大学院音楽研究科	3
専攻・研究領域	4
行事予定・試験等日程	9
修士論文作成スケジュール	10
進路	11
入学試験資料	12
1 志願者数等の推移	
2 合格者の推移	
3 専攻別志願者数等の推移	
各種コンクール受賞者	14
先輩からあなたへ Message	
Q&A	15

# TCM

東京音楽大学大学院

〒153-8622 東京都目黒区上目黒 1-9-1

Tel.03-6455-2753

〒171-8540 東京都豊島区南池袋 3-4-5

Tel.03-3982-3138

## 学長・研究科長メッセージ

時代に流されることなく、  
音楽の本質を究める。

(c)Christian Steiner



東京音楽大学学長  
研究科長  
野島 稔

グローバル化の波は、いまや私たちの日常生活にも押し寄せています。音楽は、もともとボーダーレスな芸術でしたが、演奏の動画が世界に同時に配信され、それを見聞きした人々は、様々な言語で感想を述べ合っています。以前よりも容易に世界に自分の演奏や作品を発信できる状況とも言えます。様々な情報があふれる中で、必ず質が問われるようになっていくことでしょう。

東京音楽大学は、私学では最もながい歴史を誇り、創立当初から世界を見据えた教育を実践してまいりました。皆さんは、これまで多くのことを学び、いろいろな考えをもってここに来られたと思います。東京音楽大学大学院においては、自らの課題に取り組み、自ら成長しようとする人を教員、スタッフ一丸となってバックアップ致します。時代の潮流や表面的な技術に流されず、地に足を付けて音楽を究めることができるでしょう。大学院では、専門技術の向上のみならず、深い教養を養い、日々研鑽を重ねている多くの教員や、ともに研究する生涯の仲間をここで得て、豊かな人生を歩んでいきたいと願ってやみません。

message

## 大学院音楽研究科

## ■ 修士課程

## 器楽専攻

## ■ 鍵盤楽器研究領域

- ピアノ
- オルガン
- チェンバロ
- 伴奏

## ■ 弦楽器研究領域

- ヴァイオリン
- ヴィオラ
- チェロ
- コントラバス
- ハープ
- クラシックギター

## ■ 管打楽器研究領域

- 管楽器
- 打楽器

## ■ 室内楽研究領域

## 声乐専攻

- 独唱研究領域
- オペラ研究領域

## 作曲指揮専攻

- 作曲研究領域
- 指揮研究領域

## 音楽文化研究専攻

- 音楽教育研究領域
- 音楽学研究領域
- ソルフェージュ研究領域
- 多文化音楽研究領域

## ■ 博士後期課程

## 音楽専攻

# 専攻・研究領域

## 器楽専攻

### ■ 鍵盤楽器研究領域 Message from Prof. Katsunori Ishii

鍵盤楽器研究領域は、より高度な音楽芸術の教育研究と文化・社会に貢献する人材の育成するために、様々な取組みを行っています。質の高い実践的教育プログラムを有機的に展開、幅広い分野での活動を可能とするために、ピアニスト、作曲家の教員を中心に、声楽、弦楽器等の教員を含めた指導体制をとっています。



#### ● ピアノ チェンバロ オルガン

きめ細かな指導による個人レッスン「器楽実習」のほか、楽曲への理解を深めるためのアナリーゼを中心とした「楽曲分析演習」、経験豊かな教授、演奏家から直接学べる「器楽特殊研究」、アナリーゼから演奏表現の技術を考え、他の楽器への理解を通して音楽的視野を広げるための「室内楽実習」、語学、原書講読、海外からの招聘教授、ピアニストによる実技指導等、充実した授業が揃っています。1年次には必ず学生が主体的に演奏会を企画、運営する「院生コンサート試験」に出演、2年次の修了演奏試験と合わせて1時間程度のリサイタル・プログラムが可能となるようにしています。その楽曲研究の成果を論文あるいはプログラムノートとして作成し、2年間の研究の集大成として発表します。専攻実技レッスンと専門授業の連携によって、大学学部生より更に深く集中的に音楽を追求していきます。

在学中より学生の活動は多岐に渡り、独奏者としての国内外のコンクールや演奏会での活躍はもとより、近年は独奏者としての秀逸さを活かした室内楽奏者、伴奏者としての活躍も目立っています。

修了生は国内外で「独奏、共演できる演奏者として」また「演奏できる指導者として」活躍を続けています。



#### ● 伴奏 Message from AP. Satoshi Sando

伴奏はその需要の多さに較べて、専門的に学べる場所は限られています。本大学院の伴奏研究領域は、国内でも数少ない伴奏ピアニストを育成する教育機関として実績を上げてきました。在学学生は東京音大からの進学以外、いわゆる外部出身者の比率も高く、年齢層もさまざまです。一度社会に出た後に、改めて学び直すため志願する者が多いのも特徴のひとつです。

カリキュラムとしては、指導担当教員によるレッスン「器楽実習」、鍵盤楽器研究領域共通の授業である「器楽特殊研究」、そして楽曲に対する深い理解を得るための「楽曲分析演習」が必修科目となっています。この三つの授業を中心に、ひとりひとりが学びたいものを専門的に研究するためのサポート環境が整っています。

大学院の在学期間は2年と非常に短いですが、学生はその間実践的なプログラムを懸命に学習し自らのものにしようとしています。修了後は数多くのステージにおける演奏や、学内外での教育サポートなど、その活躍は多岐にわたります。

## いまこそ学究生活を謳歌しよう

### ■ 弦楽器研究領域 Message from Prof. Hiroyuki Yamaguchi

真の個性と自信を——大学院とは、いままでの与えられてきた知識と技術の習得にとどまらず、専門分野において自ら研究領域課題を定め、正当性を持った矛盾のない理論を確立することにあります。そのためには学生の積極的な探求心と努力が求められます。大学院では、客観性と個性を持ち合わせた経験豊かな教員が学生とともに研究課題に取り組み、学生の意欲に対し最大限のサポートがなされています。具体的には、個人レッスン「器楽実習」のほか、弦楽アンサンブルを学ぶ「器楽特殊研究」、他の楽器との「室内楽実習」や「楽曲分析演習」等の授業を通して、奏者に必要な実践的な技術と専門的な知識を身につけることができます。



### ■ 管打楽器研究領域 Message from Prof. Shoichiro Hokazono

修士課程では、演奏経験豊かな教員から、情熱あふれる指導を受けることができる実技レッスン「器楽実習」のほか、「器楽特殊研究」「楽曲分析演習」の授業を通して、専攻レパートリーのアナリゼ、作曲家の人物像はもちろん、作品の成立した時代背景（社会情勢）、（思想）他の芸術分野（美術）（文学）などにも目を向け、より深い演奏表現を目指します。模擬レッスン講座もあり、大学院生が、学部の後輩にレッスンし、レッスン後、良かった点、改良点などを教員と学生と一緒に議論し、大きな成果を収めています。また学部の学生のアンサンブルに参加し、アンサンブルがどのように構築されていくかを分析しながら、指導的な役割も果たしていきます。「室内楽実習」では、室内楽のレパートリーも広げ、演奏会形式での試験に臨むことになります。

最終的には、集大成として1時間のリサイタルを行う修士演奏での学位審査を受けます。その他、オーケストラ等で演奏する機会もあり、修了生は、オーケストラ、吹奏楽のプレイヤーや指導者等、幅広く活躍しています。



### ■ 室内楽研究領域

音楽性豊かな演奏家を育てるために、高いレベルの演奏者による編成の室内楽が重要な意味を持っています。高度な室内楽研究を実現するには、基本的に各人の演奏技術を向上させなければなりません。本領域においては、個々の専門楽器の技術的、音楽的な徹底研究を行います。また、自分の楽器だけではなく、いろいろな楽器についてもその特性に触れ、楽曲についても演奏に必要な実践的かつ学問的アプローチを行うことになります。室内楽の研究により音楽全般に対する理解を深めることは、分野を問わず演奏者として必要不可欠です。室内楽研究領域は、2名から6名の間で自由にアンサンブルを組んで志望することができます。各グループに適した柔軟なカリキュラムが準備され、修了試験も同アンサンブルで受けることが求められますが、その過程においては、自由な発想により様々な楽器の組み合わせで研究することができます。さらに、他の研究領域開設科目も履修することが可能であり、それぞれの研究テーマに即した環境が整えられています。

# 専攻・研究領域

## 声楽専攻 Message from Prof. Yumiko Kan

☆大学院音楽研究科声楽専攻は「独唱研究領域」と「オペラ研究領域」に分かれています。

### ■ 独唱研究領域

「独唱研究領域」の学生は、個々人の音楽性や声にあった歌曲や宗教曲などをより腰を据えて探求することが可能です。個人レッスンのほか、各国の歌曲を専門とする担当教員による授業を受けられ、修士演奏では自らが選定したプログラムにより研鑽の成果を示します。

### ■ オペラ研究領域

「オペラ研究領域」は少人数選抜による集中的なカリキュラムにより、オペラを学ぶために最適な環境を用意しています。最大の特徴は2年時に履修する「オペラ総合実習」です。学生各自がオペラの演目を選択し、一部抜粋したプログラムを構成し、上演します。個々の学生にそれぞれ指揮者、演出家、声楽家、コレペティトゥアから構成される本学教員がつき、演技および音楽に関して手厚い指導を受けることができます。

☆年度の最初にキャスティングオーディションを実施しますが(募集は毎年とは限りません)、どちらの領域の学生も履修可能な、ヨーロッパや日本のオペラ作品を研究、演習を行い、試演会としての舞台を踏む授業(オペラ特殊研究)もあります。このように、大学院音楽研究科声楽専攻では、それぞれの学生の音楽性や興味・関心に合わせ、様々な方向性で学ぶ道を用意し、高い学習意欲を持つ学生の希望に応えられるものとなっています。



\*コロナ感染対策を徹底し、オペラ、合唱公演も行いました。



和のオペラの所作指導



バレエ指導

## 作曲指揮専攻

### ■ 作曲研究領域 Message from Prof. Yutaka Fujiwara

作曲研究領域では、自らの個性的な創作の基盤、ないしは起点となるべき課題を定め、自主性をもって能動的な研究活動、研究発表を行い、総合的な作曲能力の向上を目指します。

様々なジャンルに対応できる教員陣による実践的なゼミ形式の授業、個人レッスンを行っています。個人レッスン担当の教員を毎年自由に選択できるシステムがあるのも本学の特徴です。

作曲研究領域は2018年度より、従来の現代音楽中心の「芸術研究」と、各種メディアに対応した実践的な「応用研究」に分かれています。

「芸術研究」では、外国の演奏団体や教育機関などとの交流や研修の機会を通じて、社会性や国際性を育み、より幅広い作品発表の場を得ることで、自己のさらなる可能性を発見できると思います。

一方、「応用研究」では、社会の多様なニーズに即戦力として対応し得る、人材の育成を目指しています。



©YOKO SHIMAZAKI

# いまこそ学究生活を謳歌しよう

## ■ 指揮研究領域

大学院では、高度で機能的な指揮の技法や音楽に関する幅広い知識を学ぶだけでなく、総合的な人間力を高めることが求められます。指揮者の存在意義とは何かを問い直し、自己を見つめ、指揮者として自らに本当に必要なことは何かを追究していく力とともに、高い見識と教養を身につけ、多様な人々と豊かな関係を築いていくことを重視します。

大学院を修了した後、指揮者として幅広く活躍する人材になることを期待します。



## 音楽文化研究専攻

### ■ 音楽教育研究領域

音楽教育研究領域では、音楽科教員育成の枠組みにとらわれず、多様な音楽教育の場及び音楽活動の場を想定して、音楽と社会と人間との関わりについての研究を行なっています。教員の専門が音楽教育のみならず、文化政策、民族音楽、心理学、社会学と幅広いのも特徴です。このような学際的な研究環境で、互いに影響を受けながらテーマを決め、研究を深める2年間を過ごすことができます。また学問的な研究とともに、選択で実技の履修ができ、個人レッスンを通して実技の能力を高めることもできます。

学生の専門も様々で、研究テーマも多種多様です。音楽教師としての経験を論文にまとめようと入学してくる社会人や、日本と母国との音楽教育や文化の比較研究を行なっている留学生もいます。修了後は、教員をはじめ、音楽出版社、音楽ホールなどに就職し、自らの個性を生かしながら社会で活躍しています。

### ■ 音楽学研究領域

音楽学は、音楽について学問的に調べ、言葉によって論ずる分野です。本学の修士課程音楽学研究領域では、学部で演奏を専攻してきた学生や他大学出身の学生など、幅広い出自の学生が学んでいます。多様なテーマでの研究が可能であり、情報化の進んだ現在、かなりの研究活動を大学をベースとして行い、在学中に短期間国内や海外に出て資料収集・調査等を行う学生も増えています。

どのような研究テーマを選ぶとしても、音楽学研究領域で身に付けられる調査・考察・文章化・プレゼンテーションの能力は、修了後に多様な分野で生かすことができます。優秀な修士論文には、修了後に日本音楽学会で要旨発表の機会が与えられます。また、これまでの修了者の具体的な進路として、研究機関や図書館（在学中に司書資格取得の上で）、あるいは出版社、文化施設、一般企業が挙げられます。また、博士後期課程でさらに研鑽を積むことも可能です。

音楽と社会を結びつける人材として、音楽学研究領域で学んでみませんか？



# 専攻・研究領域

## ■ ソルフェージュ研究領域

ソルフェージュ研究領域では、自身の実技演奏、研究などに役立つ楽曲の総合的理解、把握、解釈を可能にする高度な読譜力の習得を目指します。具体的な内容は、初見、移調、スコアリーディング等を中心としたソルフェージュ実技の習得、和声学、対位法の習得、また多面的、実践的な楽曲分析と音楽様式の変遷への考察等です。各自の専門実技のさらなる習得に加えて、論文作成およびソルフェージュ課題の作成を行います。社会の様々な場において、多様な音楽活動を展開できる人材を養成しています。

音楽分野において有効な PC 活用の習得とともに、将来を見据えたオンラインを含む教育研究の1つとして、配信のためのソルフェージュ授業動画を作成し、教材研究をしています。

修了後は、音楽高校、一般高校の教諭、講師として勤務するほか、音楽大学及びその附属音楽教室の講師として指導にあたっています。



## ■ 多文化音楽研究領域

多文化音楽研究領域は、多様な文化や民族性を背景とした世界観のもとに育まれてきた世界各地の伝統的な音楽文化を、現代社会における文化の多様性の視点から探求し、新たな音楽文化を創造し、発信していくことをめざす研究領域です。

日本を含む世界各地の伝統音楽を専門に研究する者が、互いの専門研究領域を学び合うことで、新しい音楽文化を創り出していきます。

### ● 修士研究

修士研究は、3つの方向から選ぶことができます。

- 理論研究：多文化の音楽文化を研究し、論文を執筆する。
- 開発研究：多文化の音楽を現代社会に生かす企画・制作・プロデュースなどを開発する。
- 演奏・創作研究：多文化の伝統と現代をクロスさせながら新しい演奏や新しい作品を創造する。



### ● 教育内容

多彩な授業科目の中から、各自の修士研究の内容や方向に合わせて、理論と実技を自在に組み合わせながら学んでいきます。

- ・音楽文化研究としての日本音楽や民族音楽の講義や演習【多文化音楽研究演習1】
- ・アートマネジメントやメディア演習、作品制作のための演習【多文化音楽研究演習2】
- ・日本音楽を含む世界各地の伝統音楽の実技レッスン【多文化音楽実技実習】

### \* 「多文化音楽実技実習」開設予定科目（2022年度）

- アイヌ伝統音楽（トンコリ ほか）
- 中国音楽（二胡、古箏、古琴、笛子）
- キルギス音楽（コムズ ほか）
- モンゴル音楽（馬頭琴 ほか）
- インド音楽（シタール）
- インドネシア音楽（ジャワガムラン、ジャワ舞踊）
- 邦楽（箏、尺八、三味線 ほか）



多文化音楽研究領域 キックオフコンサート

## 行事予定・試験等日程

## 2021 年度修士課程 主な予定

2021 年	4月 1日 (木)	入学式 健康診断 留学生ガイダンス
	4月 2日 (金)	健康診断 科目等履修生ガイダンス 研究生ガイダンス
	4月 3日 (土)	修士1、2年ガイダンス
	春学期授業日	2021年4月5日(月)～2021年7月21日(水)
	4月 5日 (月)	～17日(土) 履修登録期間
	4月29日(木)	[昭和の日] 授業日
	7月21日(水)	春学期 授業・レッスン終了
	7月22日(木)～9月8日(水)	夏期休業
	秋学期授業日	2021年9月9日(木)～2022年1月24日(月)
	9月 8日(水)	1年修士論文ガイダンス(実技系)
	10月29日(金)～11月1日(火)	芸術祭期間(授業・レッスンなし)
12月21日(火)～2022年1月6日(木)	冬期休業	
2022 年	1月 7日(金)	秋学期 授業・レッスン再開
	1月24日(月)	秋学期 授業・レッスン終了
	2月28日(月)	修了認定発表
	3月11日(金)	修了式

## 試験等日程予定

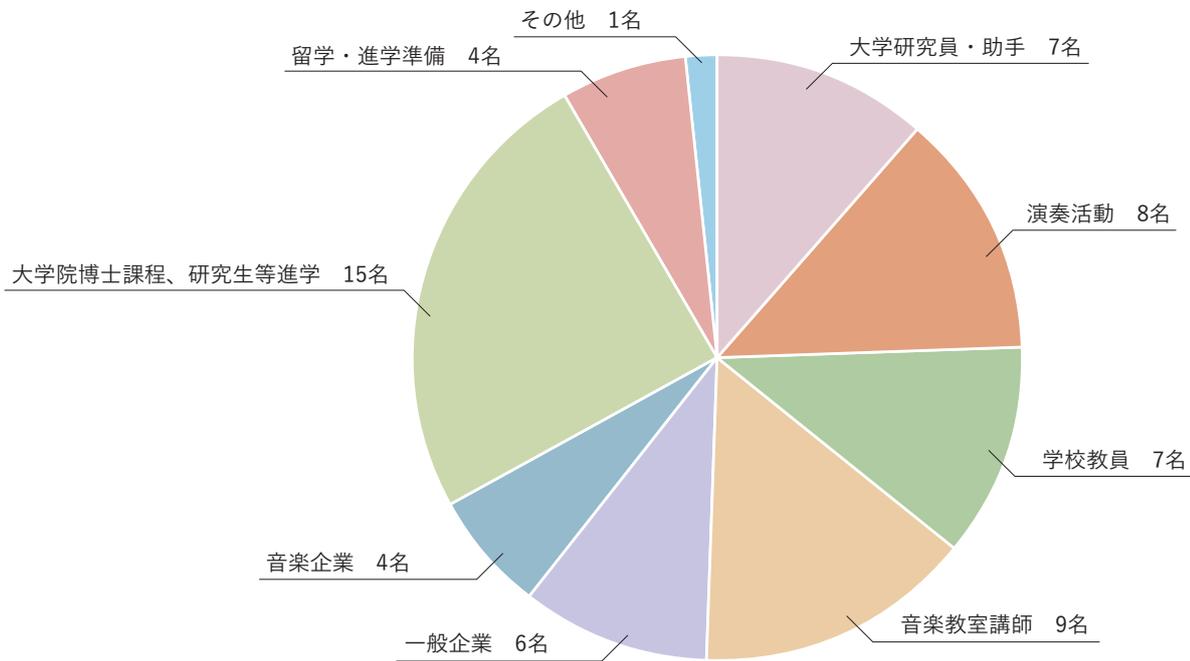
2021 年	7月	3日(土)	修士演奏(声楽 第1課題) [TCMホール]
	10月	6日(水)～8日(金) 午後5時	修士論文提出(器楽、声楽、作曲指揮)
		8日(金)	修士1年コンサート試験(ピアノ)① [TCMホール]
		10日(日)	オペラ特殊研究「コジ・ファン・トゥッテ」 [池袋・A館ホール]
		14日(木)	オペラ特殊研究「ヘンゼルとグレーテル」 [池袋・A館ホール]
			修士1年コンサート試験(ピアノ)② [TCMホール]
		16日(土)	修士1年コンサート試験(オルガン) [池袋・Bスタジオ]
		19日(火)	修士1年コンサート試験(ピアノ)③ [TCMホール]
	11月	26日(火)	修士1年コンサート試験(ピアノ)④ [TCMホール]
		上旬～	論文審査・口述試問(器楽、声楽、作曲指揮)
16日(火)		修士1年コンサート試験(伴奏) [TCMホール]	
12月	18日(木)～21日(日)	修士課程入学試験(授業・レッスンなし)	
	7日(火)～10日(金) 午後5時	修士論文提出(音楽教育)	
2022 年	1月	7日(金)～11日(火) 午後5時	修士論文提出(音楽学、ソルフェージュ、多文化)
		11日(火)・12日(水)・13日(木)・14日(金)	修士演奏(ピアノ) [TCMホール]
		15日(土)	修士2年年度末試験(多文化) [池袋・A館ホール]
			修士1年年度末試験(管打修士1年修了演奏会) [池袋・Bスタジオ]
		15日(土)・17日(月)	修士演奏(伴奏) [TCMホール]
		17日(月)・19日(水)	科目等履修生年度末試験(弦) [池袋・A館ホール]
		18日(火)・20日(木)・21日(金)	科目等履修生年度末試験(管打) [池袋・A館ホール]
		18日(火)	修士演奏(独唱 第2課題) [TCMホール]
		19日(水)	修士演奏(管打) [TCMホール]
		20日(木)	修士演奏(弦) [TCMホール]
			修士1年年度末試験(弦) [TCMホール]
		21日(金)	修士1年年度末試験(声楽) [TCMホール]
			ピアノ・伴奏奨学金オーディション [C301 特大教室]
		22日(土)	科目等履修生年度末試験(声楽) [TCMホール]
		24日(月)	科目等履修生(1年)年度末試験(ピアノ) [池袋・A館ホール]
		科目等履修生(2年)年度末試験(ピアノ) [TCMホール]	
26日(木)	修士1年年度末試験(多文化) [L152 アンサンブル室]		
31日(月)	管打楽器室内楽秋学期演奏会 [池袋・Bスタジオ]		
1月下旬	論文審査・口述試問(音楽文化研究専攻)		
2月	5日(土)	修士演奏(オペラ 第2課題) [池袋・A館ホール]	

# 修士論文作成スケジュール

	1年生		2年生	
2021年度	実技専攻	音楽文化研究専攻	実技専攻	音楽文化研究専攻
4月	ガイダンス 〈修士論文指導科目〉 ・論文作成I		ガイダンス 〈修士論文指導科目〉 ・論文作成III	
5月				音楽教育 中間発表（公開）
6月				修士論文予定題目提出 6/14（月）～18（金）
7月			修士論文題目提出 7/5（月）～9（金）	音楽学 中間発表（公開）
8月				
9月	1年修士論文ガイダンス 9/8（水）			
10月	〈修士論文指導科目〉 ・論文作成II		修士論文提出 10/6（水）～8（金）	修士論文題目提出 10/18（月）～22（金）
11月			審査・口述試問	
12月				音楽教育：修士論文提出 12/7（火）～10（金）
1月	修士論文予定題目提出 1/24（月）～28（金）			音楽学、ソルフェージュ、 多文化音楽：修士論文提出 1/7（金）～11（火）  1月下旬 審査・口述試問
2月				
3月				要旨発表（+要旨集作成）
2022年度予定	実技専攻	音楽文化研究専攻		
4月	ガイダンス 〈修士論文指導科目〉 ・論文作成III			
5月		音楽教育 中間発表（公開）		
6月		修士論文予定題目提出 6/13（月）～17（金）		
7月	修士論文題目提出 7/4（月）～8（金）	音楽学 中間発表（公開）		
8月				
9月				
10月	修士論文提出 10/5（水）～7（金）	修士論文題目提出 10/17（月）～21（金）		
11月	審査・口述試問			
12月		音楽教育：修士論文提出 12/6（火）～9（金）		
1月		音楽学、ソルフェージュ、 多文化音楽：修士論文提出 1/7（土）～11（水）  1月下旬 審査・口述試問		
2月				
3月		要旨発表（+要旨集作成）		



2020 年度修了生進路



Tokyo College of Music Graduate School

主な就職先 (2016-2020)

〈教育〉

- 公立小学校
- 公立中学校
- 公立高等学校
- 私立中学・高等学校
  - 慶應女子高等学校
  - 立正中学校・高等学校
  - フェリス女学院中学校・高等学校
  - 鷗友学園女子中学校・高等学校
  - 白百合中学校 他
- 大学
  - 東京音楽大学
  - 日本大学芸術学部
  - 大阪国際大学短期大学部
  - 美作学園大学
  - 中村学園大学・短期大学
  - 東京未来大学

〈公務員〉

- 陸上自衛隊音楽隊

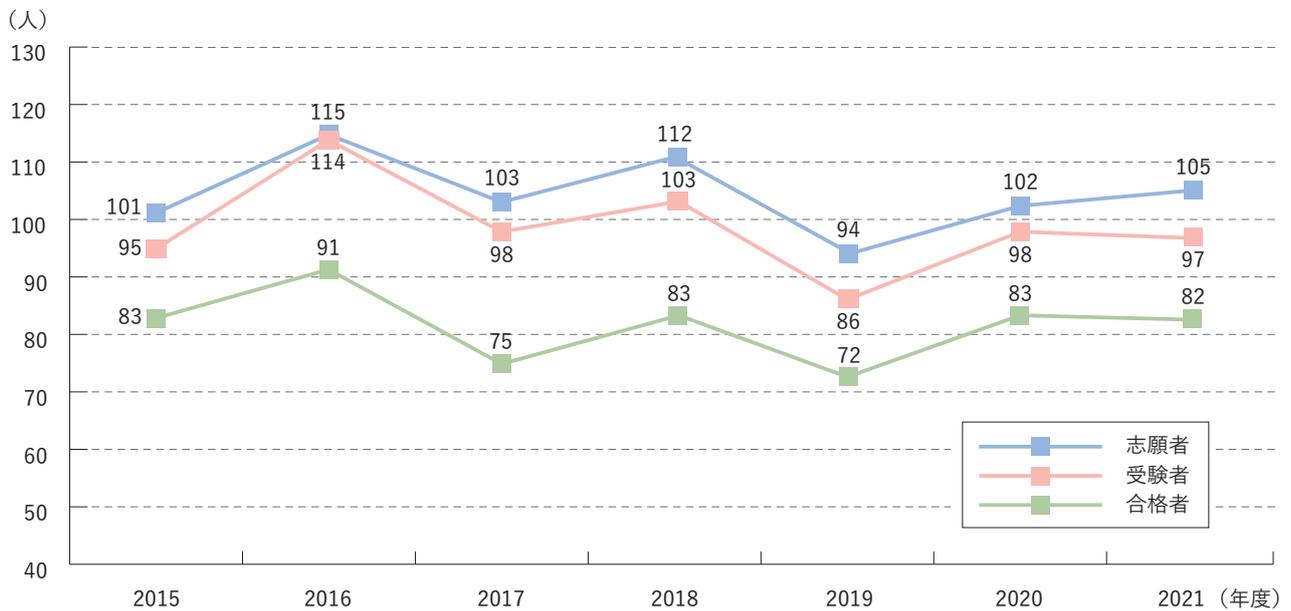
〈企業〉

- 株式会社日本入試センター 総合職

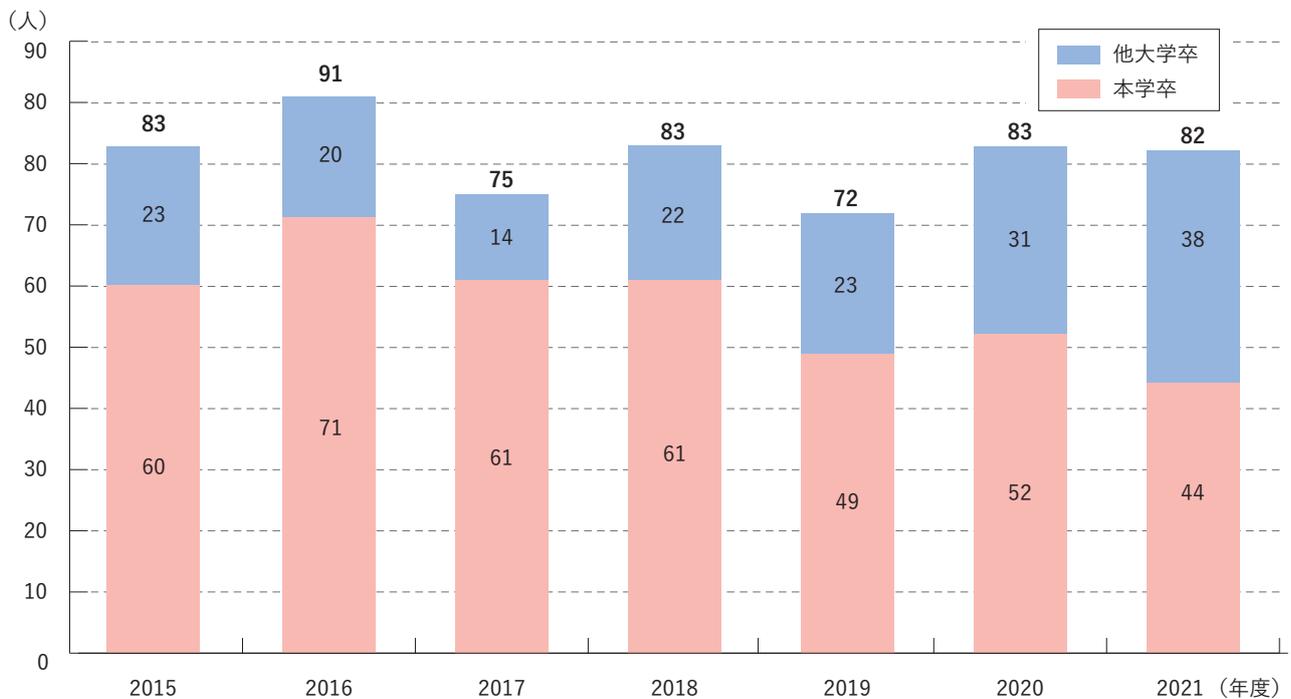
- 戸田建設 総合職
- あいおいニッセイ損害保険株式会社 地域型総合職
- 三井住友海上火災保険(株) 総合職
- 株式会社リブマックス 総合職
- 日本私立学校振興・共済事業団
- 株式会社千疋屋
- NHK 歌のおねえさん
- 株式会社日立ハイテクソリューションズ
- 富士ゼロックスシステムサービス
- 電通東日本 総合職
- 第一生命情報システム株式会社 SE 総合職
- アパホテル
- 河合楽器製作所 音教指導職
- 島村楽器
- 商船三井フェリー
- 河合塾マナビス 他

# 入学試験資料

## 大学院修士課程 志願者数等の推移（志願者、受験者、合格者）

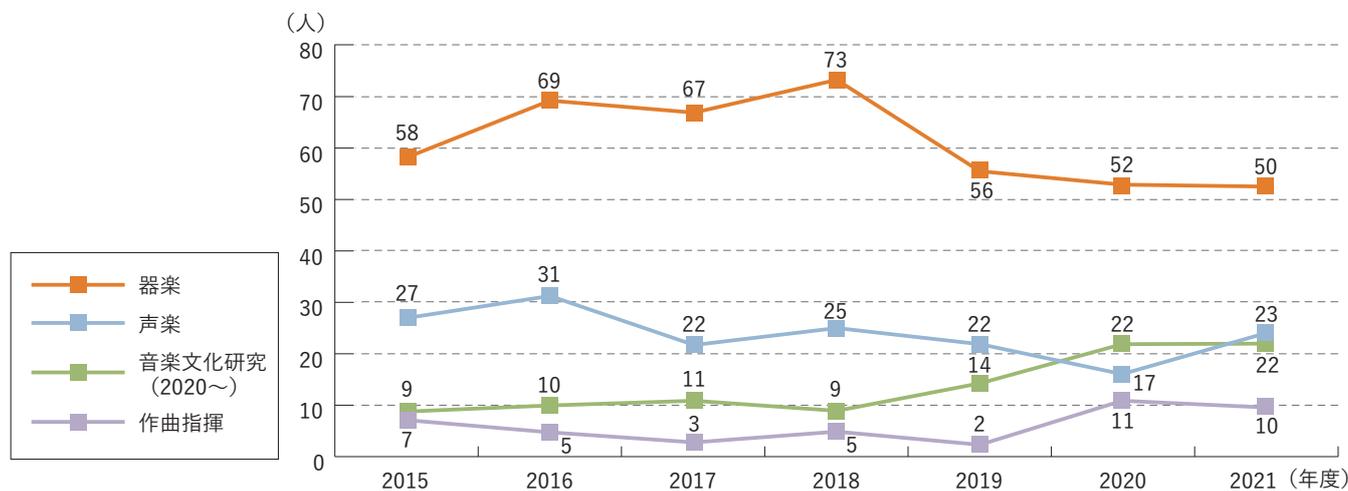


## 大学院修士課程 合格者の推移

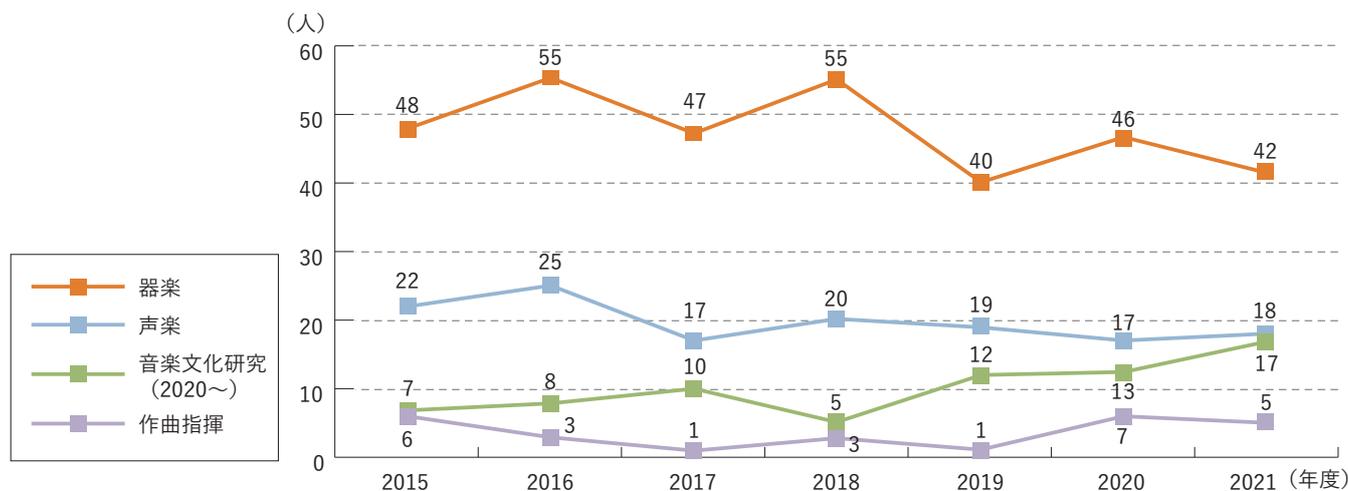


大学院修士課程 専攻別志願者数等の推移

■ 志願者



■ 合格者



専攻		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
器楽	志願者	58	69	67	73	56	52	50
	合格者	48	55	47	55	40	46	42
声乐	志願者	27	31	22	25	22	17	23
	合格者	22	25	17	20	19	17	18
作曲指揮	志願者	7	5	3	5	2	11	10
	合格者	6	3	1	3	1	7	5
音楽文化研究 (2020~)	志願者	9	10	11	9	14	22	22
	合格者	7	8	10	5	12	13	17
合計	志願者	101	115	103	112	94	102	105
	合格者	83	91	75	83	72	83	82

# 各種コンクール受賞者

## 2020年度の主なコンクール入賞者

コンクール名	受賞部門	受賞内容	氏名	専攻	学年
第74回 全日本学生音楽コンクール 全国大会	声楽部門 大学生の部	第3位	大附 仁美	声楽専攻 オペラ研究領域	大学院修士1年
第74回 全日本学生音楽コンクール 東京大会	声楽部門 大学生の部	第2位	大附 仁美	声楽専攻 オペラ研究領域	大学院修士1年
第22回 日本演奏家コンクール	声楽・一般Aの部	第3位	大附 仁美	声楽専攻 オペラ研究領域	大学院修士1年
清水かつら記念 第18回 日本歌曲歌唱コンクール		第1位 埼玉県知事賞	村崎 葵	声楽専攻 オペラ研究領域	大学院修士2年
第1回 全日本ピアノeコンクール	E級：大学生部門	第1位	藤村 瑛亮	器楽専攻ピアノ	大学院修士2年
第14回 フレッシュ横浜音楽コンクール	大学生S部門	銀賞 審査員特別賞	長谷川 絵莉子	器楽専攻 ピアノ研究領域	大学院修士1年
第14回 セシリア国際音楽コンクール	リサイタル部門	第2位	長谷川 絵莉子	器楽専攻 ピアノ研究領域	大学院修士1年
第12回 東京国際声楽コンクール	新進声楽家部門	奨励賞	高橋 茉椰	声楽専攻 オペラ研究領域	大学院修士1年
第6回 下田国際音楽コンクール	プロフェッショナルの部	第3位 ハリー賞	藤沢 亜里紗	ピアノ	2018年 大学院修了
第4回 日仏文化協会 フランスピアノコンクール	プロフェッショナルの部	優秀賞	藤沢 亜里紗	ピアノ	2018年 大学院修了

## 2020年度第19回東京音楽大学コンクール

【声楽部門】	第2位	大附 仁美 (修士1年) ソプラノ	【ピアノ部門】	第1位	宮里 倫史 (修士2年)
	入選	高橋 茉椰 (修士1年) ソプラノ		第2位	厚木 裕香 (修士2年)

## message



### 大附 仁美

修士課程声楽専攻オペラ研究領域2年

東京音楽大学声楽専攻(声楽演奏家コース)卒業。2019年度、2020年度給費奨学生。

第10回ジュゼッペ・ラチーティ国際音楽コンクール 声楽部門 第1位。

第74回全日本学生音楽コンクール東京大会声楽部門大学の部 第2位、全国大会 第3位。

第19回東京音楽大学コンクール声楽部門 第2位。

大学卒業時に卒業演奏会、第90回読売新人演奏会等に出演。

### 宮里 倫史

2021年修士課程器楽専攻鍵盤楽器研究領域ピアノ修了

2020年度第19回東京音楽大学コンクール ピアノ部門第1位

高度な授業、レッスン、論文指導等、密度の濃い指導が自分の励みになった。



自分が具体的にどのように音楽と関わっていきたいか、そのための自分の音楽能力がどれほどのものでどういう問題を抱えているのか、音楽を専門に学ぶほどに、時間を要する問いは尽きません。大学院修士課程は、それらと向き合うための良質な環境と解決の糸口になり得る沢山の機会が用意されています。

例えば「器楽特殊研究」の授業は第一線で活躍なさっている先生方により、作曲家や奏法など一定のテーマに沿った高度な指導が受けられ、先生方の音楽への向き合い方、思考を直接知ることができます。また、個人レッスンや論文作成の指導では、表面的ではない、学生である自分が必ず納得できるご指摘や方法を提示していただき、その先生方の存在こそ自分の励みになるほどでした。そして、学内でのオーディションや東京音楽大学コンクールなどの直接的な目標や学生ですべて企画するコンサート、修士演奏等演奏する機会もあり、モチベーションをより高く保つことができます。

密度の濃い大学院での2年間、本当にあっという間に過ぎ去ってしまいます。大学院担当の方々も必ず力になってくださるので、いろいろな方の力を借りて、それぞれの理想へより近づける2年間になるように頑張ってください。

- 2021年9月22日(水)、23日(木)  
東京コンサーツラボ 【Dance × 17 Etudes】 出演予定
- 2021年10月17日(日) TCMホール  
東京音楽大学コンクール優勝者コンサート 出演予定

## 魅力的な授業、素晴らしい環境で音楽を追究する。

大学院で魅力を感じる授業は、バレエや和物所作の「身体表現法」です。昨年度は新型コロナウイルス感染対策を徹底して授業を行いました。和物所作では一人で浴衣の着付けが出来るようになり、心が踊りました。またバレエは、舞台上での「魅せ方」に大きな成長をもたらしてくれたと思います。安達先生の仰る「肩から指先にかけて水が流れるように」を心がけると、心の中にも清らかな水が流れるような、精神が整う感覚を味わうことができます。

「オペラ総合実習」では、素晴らしい経験をさせて頂いています。学生が私一人に対し、声楽実技、指揮、演出、伴奏、助演と7人もの先生方をご教授くださるのです。修士演奏のオペラ「トスカ」に向けてまさに今、様々なことを吸収している最中です。

また、コンクール等が映像審査に切り替わり始めた昨年度は「TCMスタジオ」に大変お世話になりました。無料でプロの技術者の方に最高のクオリティーで録音や録画をして頂ける環境が整っています。日々素晴らしい環境で音楽ができることに感謝し、残りの学生生活も謳歌していきたいと思っています。



## Q &amp; A

## 入試について

## Q 共通科目試験はどのような内容ですか？

A 全専攻共通の外国語、音楽史、面接の試験です。詳細は募集要項の p.3 をご覧ください。社会人及び外国人選抜受験者は、免除される場合があります。

## Q 過去の問題はどこで入手できますか？

A 来学して直接閲覧するか、メールで請求してください。メール請求の場合は、著作権上内容が読めないページがあります。

・来学の場合：池袋キャンパス A 館 1 階または中目黒・代官山キャンパス 1 階教務課に閲覧できます。閲覧時間は 9:00-17:00 です。

（夏期・年末年始は休業期間等がありますので、事前にお問合せください）

・メール請求：件名に「修士課程過去問題請求」と明記し、

以下の①～⑥の項目を入試課（nyushi@tokyo-ondai.ac.jp）に送付してください。

3 年分のデータを返信します。

①氏名②ふりがな③電話番号④メールアドレス⑤学校名（卒業校名）⑥志望専攻、楽器名

## Q 実技試験の練習用に部屋を借りることはできますか？

A 実技試験前に 30 分程度の直前練習の部屋が用意されています。

また、入試第 1 日目（共通科目試験日）には、大学の練習室を貸し出します。

## Q 音大卒業後、家で教える仕事をしていますが、社会人特別選抜に出願できますか？

A 在職証明書の代わりに納税に関する証明書の写しを提出してください。

## 入学後について

## Q 専攻の指導教員はどのように決まりますか？

A 合格者に希望教員アンケートを実施し、その希望をもとに決定します。ただし、ご希望に沿えない場合もあります。

## Q 奨学金はいつ手続きをすればよいですか？

A JASSO の奨学金申込については、4 月のガイダンスで説明します。大学の給費奨学金は、入学試験の優秀者に給付され、申し込みは不要です。

## Q 在学中どのような試験がありますか？

A 実技試験については P. 9 を参照してください。

## Q 修士論文は必修ですか？

A 音楽文化研究専攻（音楽教育、音楽学、ソルフェージュ、多文化音楽）は修士論文の提出が必須です（ただし、ソルフェージュ研究領域は課題集及び解説論文の提出でも可。多文化音楽研究領域は、修士論文に代わる課題研究報告書の提出でも可）。

その他の専攻の修士論文の提出は任意ですが、作曲指揮専攻は、部会の方針で修士論文の提出が義務付けられています。論文執筆から審査までのスケジュールは p.10 を参照してください。

## Q 修士課程の学生専用の練習室はありますか？

A 池袋キャンパスに 6 部屋、中目黒・代官山キャンパスに 3 部屋あります（内 1 部屋はホール楽屋と兼用）。その他、打楽器の練習室があります。また、学部と共同の練習室も利用可能です。

## Q 教員免許状について

A 既に中学校教諭一種免許状（音楽）高等学校教諭一種免許状（音楽）を取得済みで（所要資格を満たしている場合を含む）、修士号を得るとともに、所定の単位を修得した場合、修了時に専修免許状を取得することができます。

東京音楽大学大学院学則より抜粋

第 15 条 教育職員免許状の種類及び免許教科は、次の表のとおりとする。

研究科（課程）	専攻	免許状の種類	免許教科
音楽研究科 （修士課程）	器楽専攻	高等学校教諭 専修免許状 中学校教諭 専修免許状	音楽
	声乐専攻		
	作曲指揮専攻		
	音楽文化研究専攻		

2 教育職員免許状を取得するための授業科目及びその履修方法については、別に定める。

※新型コロナウイルス (covid-19) 感染状況により、試験会場、試験方法が変更になることがあります。変更については本学ホームページ上で発表しますので、随時確認してください。緊急の連絡は登録のメールアドレスにお知らせします。

☆掲載の授業・レッスン写真の中でマスクを着用していないものは、コロナ禍以前に撮影したものです。マスク着用の場合も写真撮影用に一時的に間隔を詰めています。

# Tokyo College of Music Graduate School

## Master of Music Degree Program

- Keyboard Instruments    Piano/Organ/Harpsichord/Collaborative Piano
- String Instruments        Violin/Viola/Cello/Contrabass/Harp/Classical Guitar
- Winds and Percussions    Flute/Oboe/Clarinet/Bassoon/Saxophone/  
  Horn/Trumpet/Trombone/Tuba/Euphonium/Percussion
- Chamber Music
- Vocal Solo    • Opera
- Composition    • Conducting
- Music Education    • Musicology    • Solfège    • Multicultural Music

## Doctoral Program

- Music

[http://www.tokyo-ondai.ac.jp/graduate\\_school/](http://www.tokyo-ondai.ac.jp/graduate_school/)